

令和7年度 都城市立西小学校評価書

1 学校の教育目標

- 豊かな心と自ら学ぶ意欲をもち、積極的にねばり強くがんばる児童の育成

2 学校経営ビジョン

<p>「教育は人をはじめとする環境なり」を基本理念として、教育者としての自覚と責任をもち、児童の実態及び保護者や地域の願いを十分に把握し、以下のことを推進する。</p> <p>① 確かな児童理解に努め、「チーム西」で校風を醸成する学校経営</p> <p>② 教育活動の一步前進に努め、「目指す児童像」の具現化を図る学校経営</p> <p>③ 家庭・地域との連携に努め、信頼関係を築く学校経営</p> <p>④ 子どもたちが主役の授業（主体的・対話的で深い学び）を意識した授業改善</p> <p>⑤ 働き方改革を推進し、働きやすい職場を実現する学校経営</p>			
<p>【最重点目標】</p> <p>★主体的に学ぶ児童の育成 ★遅刻児童の減少</p>			
<p>【確かな学力向上対策の推進】</p> <p>1 基礎的・基本的な内容の定着</p> <p>2 主体的・対話的で深い学びの視点に立った授業改善（ICTの効果的な活用）</p> <p>3 家庭学習の充実</p> <p>4 生涯読書活動の推進</p>	<p>【心の教育の充実と生徒指導体制の確立】</p> <p>1 基本的な生活習慣の確立</p> <p>2 生徒指導の三機能を生かした教育活動の展開</p> <p>3 他校（さくら聴覚支援学校）との交流活動の推進</p>	<p>【体育・健康教育の充実】</p> <p>1 体育科授業をとおした主体的に学ぶ児童の育成</p> <p>2 家庭と連携した健康的な生活習慣（早寝・早起き・朝ごはん・食育・立腰）の確立</p> <p>3 家庭と連携した安全意識の醸成</p>	<p>【地域との連携充実】</p> <p>1 総合的な学習の時間をとおした主体的に学ぶ児童の育成（地域学習の充実）</p> <p>2 3校及び地域関係団体との積極的な連携強化（学校運営協議会の機能充実を含む）</p>
<p>よい校風づくり（下学年：三つのあたりまえ、上学年：三つの西風）</p> <p>「いじめ0」「気持ちのよいあいさつ・言葉遣い・態度」「けじめ（時間・場所・人・物）」</p>			

3 達成状況評価基準

- 4段階評価 … A（100～80%） B（79～60%） C（59～40%） D（39%未満）

※ 到達度は教職員と児童、保護者の到達度の平均。総合評価は、到達度評価に外部評価を加味した評価。

4 自己評価結果

評価項目	評価指標	自己評価項目	到達度(%)	評価	総合評価	◇成果 ◆課題・改善策
確かな学力向上対策の推進	○ 基礎的・基本的な内容の定着	・ 学習事項の習熟や定着の時間を確保している。	94	A	A	◇授業中に、習熟を図る時間をしっかり確保して、基礎的・基本的な内容が習得できるように努めた。 ◆AIドリル等の積極的な活用により、個に応じた学習にをさらに進めていく必要がある。
	○ 「主体的・対話的で深い学び」の視点に立った授業改善（ICTの効果的な活用）	・ 児童が学び合う指導過程を工夫し、分かる授業に努めている。	92	A		◇上・下学年ともに、「先生は分かりやすく教えてくれる」という肯定的評価が多い。また、日々の授業改善に向けた教職員の努力が授業改善につながっている。 ◆授業でのICT活用は進みつつあるが、家庭でのタブレット活用については、保護者と共通理解を図っていく必要がある。
		・ 授業でICTを効果的に活用している。	78			
	○ 家庭学習の充実	・ 家庭学習の充実に努めている。	87	A		◇与えられた課題について、家庭でしっかり取り組んでいる児童が多く、家庭学習の習慣が身に付いている。 ◆宿題の量や、デジタルと従来型の手法を組み合わせた家庭学習について、保護者と共通理解を図りながら進めていく必要がある。
	○ 基本的な学習習慣の確立	・ 基本的な学習習慣の確立に努めている。	94	A		◇授業1分前に着席することや、学習のきまりが定着しており、落ち着いて学習に取り組んでいる。
○ 生涯読書活動の推進	・ 読書活動の推進と語彙力の向上を図るため、年間目標冊数以上の達成を目指している。	71	B	◇図書主任、図書館サポーターが企画した読書イベント等で読書への意識が高まった。その一方で、12月現在の図書室の貸出冊数は約43000冊。昼休みを短縮したが、貸出冊数は微減に留まっている。 ◆家庭での読書に課題がある。家庭読書週間等を設定して、家庭でも読書に親しむ手立てを講じていく必要がある。		

心の教育の充実と生徒指導体制の確立	○ 基本的な生活習慣の確立（西小のよい校風「三つの西風」の醸成）	・ 「いじめ0」「気持ちのよいあいさつ・言葉遣い・態度」「けじめ（時間・場所・人・物）」を中心とした生活習慣の定着を目指している。	94	A	A	◇三つの西風の醸成に向けて、学校全体で指導を行った結果、友達と仲良く過ごすことや、気持ちのよいあいさつや言葉遣いをするについて児童、保護者、教職員とも肯定的評価が多かった。
	○ 生徒指導の三機能を生かした教育活動の展開	・ 「道徳科」における体験学習の指導や方法の工夫改善を図っている。	90	A		◇道徳科の時間に自分の考えを発表したり、友達の考えを聞いたりして、自己の生き方についてしっかり考えられる児童が増えている。 ◆教育活動全体を通して、「自己存在感を与える」「共感的な人間関係を育む」「自己決定の場を与える」という生徒指導の三機能を意識して指導していく必要がある。
	○ 他校（さくら聴覚支援学校）との交流活動の推進	・ 同学年や他学年、交流学級やさくら聴覚支援学校の友達との交流活動を通し、互いを尊重しながら共生することの大切さを実感できる児童を育成している。	92	A		◇さくら聴覚支援学校やきりしま支援学校との様々な交流を通して、共生することの大切さを学ぶことができた。
体育・健康教育の充実	○ 体育科授業をととした主体的に学ぶ児童の育成	・ 体育の時間の運動量の確保に努めている。	95	A	A	◇体育の時間に、声掛けや場の工夫を行った結果、児童自らが進んで運動に取り組むとする意欲が高まっている。 ◆体力テストの結果では、投げる運動や握る運動（握力）に課題が見られたため、体育の授業で主運動に入る前にサーキットトレーニングを行い、体力向上を図る。
		・ 日常的に運動意欲が高まるように声かけや環境整備に取り組んでいる。	96			
	○ 家庭と連携した健康的な生活習慣（早寝・早起き・朝ごはん・食育・立腰）の確立	・ 家庭と連携した健康的な生活習慣の確立に努めている。	78	B		◇児童、保護者とも早寝・早起き・朝ごはんなどの基本的な生活習慣がしっかり身に付いているという回答が多い。 ◆虫歯の治療率は、11月末現在52%である。呼びかけの方法を工夫しながら、目標の70%に近づけていきたい。 ◆本校の最重要目標である「遅刻児童の減少」については、若干改善されたが、さらに遅刻を減らすために、児童へのメディアとの付き合い方の指導や家庭への呼びかけを継続していく。
		・ おし歯の治療率70%を目指している。	80			
○ 家庭と連携した安全意識の醸成	・ 家庭と連携した安全意識の確立に努めている。	93	A	◇本年度、安全指導部を新たに設け、安全点検を児童とともにいたり、雷雨時の対応マニュアルを作成したりするなど、新たな取組を行い、児童・保護者へ安全意識の確立に努めた。		
地域との連携充実	○ 総合的な学習の時間をととした主体的に学ぶ児童の育成（地域学習の充実）	・ 地域素材・人材の積極的な活用を図り、地域学習を行うことで、主体的に学ぶ児童の育成を図っている。	85	A	A	◇地域素材や人材を積極的に活用しながら、地域学習を全学年で行い、主体的に学ぶ児童の育成を図ることができた。 ◆持続可能な形で地域人材が確保できるように活動内容等の見直しを行っていく必要がある。
	○ 三校（西中、明和小、西小）及び地域関係団体との積極的な連携強化（学校運営協議会の機能充実を含む）	・ 西ブロック小中一貫教育推進会議で取り決めた「共通実践事項」について、意識して積極的な推進に努めている。	91	A		◇3校で児童が主体となって学び合う授業の構築に向けて、協議や相互の授業参観を行った。 ◇月初めの第1週を横市地区あいさつ活性化週間として設定し、あいさつ運動に3校で合同で取り組むことができた。 ◆学校運営協議会での協議内容についての保護者への周知を行っていく必要がある。
	○ 情報提供の充実	・ 地域の方へ積極的に教育活動の公開に努めている。	89	A		◇学習の様子をホームページで積極的に公開した結果、月平均15,500アクセスを記録した。 ◆令和9年度に150周年記念事業を実施予定のため、地域と情報共有をしながら、計画を進めていく必要がある。